

未来へ。1歩踏み出す

～ 仁賀保高校卒業式 ～



晴れやかに卒業証書を受け取る卒業生

3月2日、仁賀保高校の卒業式が行われ、147人が未来への第1歩を踏み出しました。

式では生徒一人一人に卒業証書が授与されたほか、在校生による送辞や卒業生による答辞等が行われました。送辞では、東日本大震災の被災地に向けボランティア活動に勤しむ先輩の姿に心を打たれたことなどが語られ、涙ぐむ卒業生の姿が見られました。また、式辞で「勇気を失うな、唇に歌を持って、心に太陽をもて」と、校長先生自らの座右の銘を授かった卒業生らは、清々しい面持ちで3年間過ごした母校を後にしました。

会場は春爛漫

～ 国際交流協会「春のティーパーティー」～

3月3日、市国際交流協会主催の「春のティーパーティー」がスマイルを会場に開催され、市内在住の外国人と小中学生など計51名が参加しました。

外国文化や外国語に触れ合うことを目的に例年この時期に開催されており、今年のテーマは「イースターエッグ作りで春を楽しもう」。参加者らがゆで卵の殻に思い思いに絵付けをすると、春を先どり花々のように色とりどりの作品が完成しました。また会場は終止、異国で育った互いを理解しようとする気持ちで溢れ、春の陽気を思わせるあたたかな時間が流れていました。



異国文化を熱心に聞き入る参加者

今季は魅せるサッカーを！

ブラウブリッツ
～ B B秋田、市教育長を訪問～



左から松田選手、教育長、与那城新監督

3月7日、B B秋田の監督・選手らが今シーズンのJFLリーグ開幕を前に渡辺市教育長を訪問しました。

2月にJリーグの準加盟登録が承認され、まさにJリーグ入りのスタートラインに立ったこと、新監督に与那城氏、秋田が生んだJリーガー熊林選手の加盟により、魅せるサッカーが期待できることなどが報告されました。

今シーズンは3月10日に開幕を迎え、同17日には八橋陸上競技場でホーム開幕となります。にかほ市では6月23日、8月23日、10月26日の3戦が組み込まれています。さあ夢のJへ。私たちも応援しましょう！



雪を踏みしめる音や景色、すべてが新鮮

白銀世界へようこそ

～ B Sスノートレッキング～

2月23日(土)、B Sスポーツクラブにかほが主催する「B Sスノートレッキング」が行われました。これは雪と親しみながら冬の自然を満喫することを目的に行われており、市民ら30人が参加しました。

スノートレッキングは、スノーシューと呼ばれる歩行具を履いて行われます。この日は栗山池公園から元滝までの往復約4kmを2時間かけて歩きました。ガイドによる自然環境などの説明がなされ参加者は熱心に耳を傾けていました。また、雪上に残る動物の足跡の多さに驚き、冬の森における動物の営みを体感しました。

夢を語る瞳、未来を見つめる

～ 郷土の偉人に学ぶ作文コンクール表彰式・優秀作品発表会～

2月23日(土)、金浦公民館で「郷土の偉人に学ぶ作文コンクール表彰式・優秀作品発表会」が行われました。これは、郷土の偉人である白瀬中尉や斎藤憲三先生の生き方を学び、郷土愛を育むことを目的として毎年行われています。今年は市内小中学校の児童・生徒から作文273編の応募があり、中でも特に優秀であった12編の作文の表彰と作品発表が行われました。

作品発表会終了後には、(財)斎藤憲三顕彰会理事長の巴徳雄氏を講師に招き記念講演が行われ、夢を諦めないことの大切さなどが語られました。



温故知新の精神で、偉人の背中を追う

支えてくれた人たちに感謝

～ スポーツ少年団修了式～



各少年団に修了証が渡されました

3月2日、仁賀保勤労青少年ホームでにかほ市スポーツ少年団修了式が行われ、小学6年生の団員計142名が出席しました。

家族らが見守るなか、各スポ少の監督から団員一人一人の名前が読み上げられると、大きな返事とともにステージに登壇し、中津本部長から修了証が手渡されました。また、式の最後に各スポ少の代表が団活動を発表。これまでを振り返り、監督やコーチが指導してくれたこと、家族が応援してくれたこと、一緒にプレーしてきた仲間たちへの感謝の気持ちが語られました。